



平成27年度 第36回 徳島県婦人問題調査研究発表大会 (一般財団法人徳島県婦人団体連合会活動発表大会)

とき：平成27年11月19日 あわぎんホール

第36回を数える徳島県婦人問題調査研究大会を11月19日あわぎんホールで開催。飯泉徳島県知事をはじめ、多くのご来賓を迎えた。婦人会会員も800名が参加しました。調査研究発表は、吉野川市婦人団体連合会による「少子化問題」に対する意識と実態について、2000人のアンケート調査結果を発表されました。婦人会活動の今後の取り組み方を考えさせられるよい機会になりました。又、地域婦人会活動発表は、小松島市婦人連絡協議会と徳島市婦人連絡協議会が発表。午後の部はミニ講演会と地域防災力アップについて学習し今後共、婦人会の活動力が欠かせないと話されました。

婦人問題調査研究発表

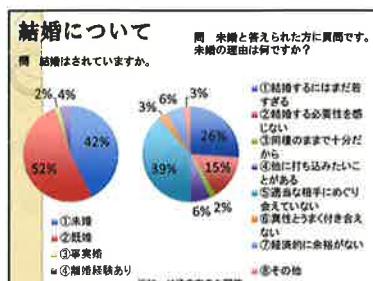
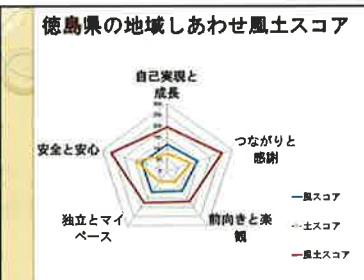
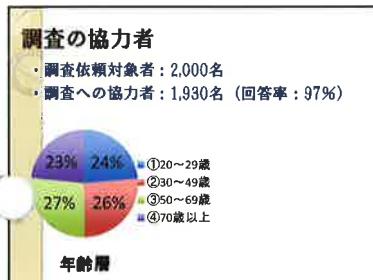
テーマ「少子化と地域の幸福度の現状について」

発表：中央ブロック 吉野川市婦人団体連合会

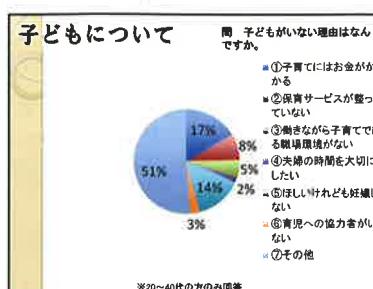
近年、急速な高齢化とともに、少子化も深刻な問題となっています。少子化は個人的な部分でもありますから、国の財政や社会保障、地域コミュニティなど、多岐に渡って大きな影響を及ぼします。現状を把握し、結婚や家族についての意識をさぐり、地域の幸福度を高めてゆくためにアンケート調査を実施しました。



アンケート調査結果から



2016年10月28日 1月14日



少子化をテーマにアンケートの結果をまとめたところ、20～49歳の未婚者のうち4人に1人が結婚に消極的であることがわかりました。理由は「必要性を感じない」「他に打ちこみたい事がある」等挙げており、未婚者増の背景に価値観の多様化があると思います。少子化が社会に与える影響として「社会保障制度の崩壊」「地域コミュニティの集落が維持できない」などと多数の深刻な問題であると受け止めています。

少子化と地域の幸福度についてのアンケート結果では徳島県の調査結果では、「つながりと感謝」「安全と安心」が高スコアなのが特徴的です。そして吉野川市においては徳島県全体に比べて高い高スコアでした。「安全と安心」のスコアが素晴らしいのですが、「自己実現と成長」の低さが気になります。何年か幸福スコアのアンケート調査を続けると、どの様な幸福度の現状がわかるのではないかでしょうか？

そして地域の幸福度スコアが高い程地域に住む人の幸福度が高く、地域がそこに住む個人の幸福を後押ししているということです。



発表者の皆さん

アンケート調査にご協力頂き有難うございました。

スペシャル対談

公益財団法人結核予防会徳島県支部
支部長 熊谷幸三徳島県副知事

一般財団法人徳島県婦人団体連合会
会長 藤田 育美



藤田育美（以下F）：副知事は公益財団法人結核予防会徳島県支部の支部長も兼任されていらっしゃいますので、本日は支部長としての御立場からも結核予防の取り組みについてお話を伺えればと思っています。よろしくお願ひいたします。

熊谷副知事（以下K）：よろしくお願ひします。

F：結核予防会とは「複十字シール運動」や結核予防についての取組みと一緒にさせて頂いているんですけど、「複十字シール運動」が本当に大切であるということを県下一円に普及したいと考えています。

県婦連では婦人会内部の中で割り当てられる封筒を買わされるのではないかと、「募金活動なんだ」とやっとわかつてもらえるところまできました。「複十字シール運動」が県民に認知してもらえるよう、ご教示いただければと思います。

K：残念なことに、「複十字シール運動」がなんたるかを、ほとんどの方がご存知ないですよね。

毎年、複十字シールと封筒のセットが来て、今年も来ただんなあと感じています。あの封筒は重宝していますよ。結核は今、昔の国民病からもう普通の病気にまでなりました。それでもまだ感染症としては死亡率の高い病気です。結核そのものをもうちょっと知ってもらいたいと思っています。

結核を予防して死者を減らすような運動・啓発に使っていく資金を、「複十字シール運動」で得ています。私たちは、結核の恐ろしさを訴えていかなければなりません。とくしま未来健康づくり機構（徳島県総合健診センター）では様々な健診をしていますが、健診時に結核について患者様にお話しして「結核予防」について地道に伝えていかなくてはなりません。それしかないように思います。

F：結核予防婦人会では毎年「中央講習会」が開かれています。県婦連からも数名が参加しています。でも参加するだけで終わっているんです。これは徳島県に限ったことではないんですけど、参加者は受講して自分の肥やしにはなるという程度なのです。ですから、講習に行ってどんなことを学んだのか、自分たちが得た知識を分かりやすく多くの人に伝えていくことが大事だと思うんです。

副知事や私と同世代の方は、結核菌を持っていることが多いので、疲れたときとか高齢になって体力が弱った時には、結核菌が発病する恐れが十分にある。ということを皆さん知りませんよね。

K：結核菌なんて日本から無くなつたと思っていますよね。

F：婦人会の会員は、みんな頑張ってくれているんですよ。ですから私もどうにかして資金を調達して、運動の一環にしたいと考えています。役員だけで活動しないでねということを皆さんにお話しています。

私は結核予防会にも申し入れていることがあるんです。複十字シールと言ってもこの頃は手紙を出す人が少なくなってきたたり、シールを貼ろうという人も少なくなっていました。100年前に郵便局員さんが提案したこの活動も素晴らしいんですけど、もう少し新しい方法でやってみてはどうかと思って。それはインターネットで募金をする方法です。ワンクリックで1円の募金ができるみたいな。そういう新しいことをやってみてはどうですかと、正式に提案しています。

K：今やふるさと納税でもコンビニでできますからね。

F：ワンクリック1円って募金しやすいかなと思うんですけど、このシステムを組むには費用がかかるので、難しいかもと言われました。ネットで気軽にボランティアが出来る方法を考えて頂けないかと思うんです。今やネット社会ですからね。

K：私は手紙を書くこともあるのでシールも使うのですが、最近はメールですからあまり使わないですね。

やっぱりみんながこれは面白いと乗ってくるようなものに、変えて行くということはいい案です。



F：新しい取り組みとしては、結核予防婦人会でカンボジアの「ドット」活動の際に現地のボランティアスタッフが制服として着用するTシャツを購入するため募金活動することが理事会で決まりました。1口500円で、募金をしたら複十字バッヂ1個と引き換えです。県婦連でも協力をします。

また、11月には現地の視察が計画されているので参加しようと考えています。

K：素晴らしいですね。

F：県には「たばこ病」の予防について取り組みをしてもらいたいと思っています。「たばこ病」とは「慢性閉塞肺疾患」といいます。なぜ結核予防で「たばこ」なのかというと肺の病気だからです。喫煙や副流煙を吸うことがどれだけ健康に害を及ぼしているのかということを多くの方に知ってほしいんです。

東京都では、オリンピックまでに「たばこ病」に関しての条例を制定する予定があると聞きました。徳島県を、「マナーの良い、たばこを吸わない街」として発信したらいいと思うのですが、いかがでしょうか？ぜひ、条例を作ってもらいたいです。

K：条例の中身にもありますが、どういうものにしていくかというのがあって、大麻のように絶対禁止ということできかないかということですね。日本では、たばこは法律的に認められている嗜好品なので、全面的な禁止をするということは難しいですね。TPOを考えて、周囲の人々に迷惑を

掛けないたばこの吸い方にについてということになるでしょう。

F：副流煙について、しきりのみで分煙されているお店がありますが全く意味がありません。隔離された喫煙スペースや換気扇の下で喫煙しても肺の空気が完全に入れ替わるまで、肺からは呼吸する時にたばこの煙を出し続けています。子育て世代の方が換気扇の下や車の窓を開けて喫煙をしても、すぐに子どもの傍に行つたではまるで意味がないです。



K：確かに知らない方は多いでしょうね。

F：たばこからもPM2.5って出てるんですよ。喫煙OKの居酒屋さんでは、北京のPM2.5濃度最高値と同じだそうです。こういった正しい知識を持ってもらえるように、今年は婦人会を中心にお話していきたいと思っています。

副流煙について実験をした動画もあるので見てもらいたいと思っています。

行政と結核予防会と我々婦人会が一緒になって、少し費用を使ってでも活動が出来るような方法を考えて頂けたらありがとうございます。

F：条例は議会もありますので、どういう内容にするか、まず必要なところからやっていかなくてはなりませんね。

やはりCOPDの原因はたばこなので、たばこをどうするかですね。

K：ご提案頂いている条例についても、その一つの方法として考えていけばいいと思っています。それは課題としていただいておきます。

結核予防の取組について、地道にPRの方法とか工夫を凝らしていきたいと思います。とくしま未来健康づくり機構（徳島県総合健診センター）を中心に、その都度その都度、たばこの恐ろしさや肺疾患に対しての情報を出していかなくてはならないと考えています。募金についても企業ぐるみでご協力いただければありがたいですが、最近そういう事業者も少なくなっています。こちらとしても検診車やレンタルゲン車を持って行って各事業所を巡っているので、そういうところで少しでもお話ししていただければと思います。

F：できるだけご協力いただければと思いますので、今後ともよろしくお願ひします。

本日はありがとうございました。



※ドット(DOTS)…服薬を直接確認すること

～家族からたばこを吸わない運動を展開しましょう～

平成 27 年度 第 17 回中国・四国地区結核予防婦人団体幹部研修会

平成 27 年 12 月 3 日～4 日 IN 鳥取県

徳島県婦人団体連合会 副会長 笠井博美

長引く咳は赤信号 風邪のような症状が 3 週間以上続いたら診てもらおう

2 年に 1 回開催される中・四国地区結核予防婦人団体幹部研修会が、鳥取市内ホテルモナーク鳥取にて開催されました。徳島県から藤田会長、秋成、笠井両副会長、南事務局長が参加しました。

1 日目は、大塚製薬株式会社による、大豆イソフラボンは腸内でエクオールという成分となり、これが女性ホルモンと似た働きをし、更年期の症状を和らげてくれると話してくれました。

続いて結核予防会 名誉所長 森享氏から、日本は結核で毎年 2 万人の新規患者と 2000 人が死亡。日本はまだ結核中進国で、罹患率は米国の 5 倍、これは米国の 40 年前の水準とのこと。4 歳までの感染後の発病率は 20%、0 歳では 40% と非常に高い。症状は風邪とよく似ている、長引く咳は赤信号。ワクチンで子どもを守ろうと話されました。

2 日目は、結核予防会 顧問 島尾忠男氏から何故日本の結核問題は簡単には片づかないのか。過去に結核が強く蔓延していたために高齢者のほとんどが結核の既感染者で体内に結核菌が休眠しており、抵抗力が低下すると菌が活動を再開し発病すると話されました。

都道府県別に見た最近の結核蔓延状況では、大都市と高齢者の多い地域に蔓延地区が集中し、罹患率は香川、徳島県が高く、全国平均以下、最低は山口県。緊急性肺結核の罹患率は高知、香川、徳島県が高いと話されました。徳島県は糖尿病や人口密度化率が高いためやはりこのような結果なのかなと思いました。

研修会に参加して、募金で世界から結核を無くすことはもちろんですが、毎年の定期検診が大切であり、検診の推進をより高めていくことも結核予防婦人会の務めだと強く思いました。

第 20 回結核予防関係婦人団体中央講習会に参加して

結核予防関係婦人団体中央講習会に参加して

板野郡藍住町婦人会 渋 千代

全国各地の各種団体から多数の人が参加して、秋篠宮妃殿下のご臨席の下、開催された講習会でした。

「COPD(慢性閉塞性肺疾患)」という肺の生活習慣病の話があり、40 歳以上の日本人には約 10 人に 1 人の割合でこの病気の疑いがあるとのことで、4~5 年先には死亡原因の 3 位になるとの予測がされています。

この病気の症状は、咳と痰が長引き、息切れがするのが特徴で、喫煙が主な原因です。

この話を聞いて症状に当てはまる人がいたら、皆さんも「COPD」を疑って、医師に相談してみてください。

また、喫煙している者にあっては禁煙することをお勧めします。



社会医療法人 川島会

日本医療機能評価機構認定病院

川島病院

理事長 / 川島周 院長 / 水口潤

〒770-0011
徳島県徳島市北佐古一番町 1-39
電話 : 088-631-0110 FAX : 088-631-5500

内科・人工透析内科
川島透析クリニック
院長 / 土田健司
〒770-0011
徳島県徳島市北佐古一番町 6-1
電話 : 088-634-0200 FAX : 088-612-8321

内科・人工透析内科
鳴門川島クリニック
院長 / 林郁郎
〒772-0043
徳島県鳴門市大津町段閑字西 68-5
電話 : 088-683-0810 FAX : 088-683-0818

内科・人工透析内科
鴨島川島クリニック
院長 / 川原和彦
〒776-0033
徳島県吉野川市鴨島町飯尾字福井 396-3
電話 : 0883-24-8551 FAX : 0883-22-1355

内科・人工透析内科・糖尿病内科
脇町川島クリニック
院長 / 深田義夫
〒779-3602
徳島県美馬市脇町大字猪尻字建神社下南 39-2
電話 : 0883-55-0110 FAX : 0883-55-0130

KH
Kawashima Hospital

御所のたらいうどん

阿波市土成町婦人会 大松 廣子

土成町は吉野川市鴨島町と香川県白鳥町を結ぶ国道 38 号線が南北を通り、J クラシックゴルフクラブでゴルフを樂しまれる方や県外客も多く、県境の鶴の田尾トンネル周辺は奥宮川内県立自然公園に指定されており、歩くと音の出る太鼓坂や、川魚の「じんぞく」をだしにする『たらいうどん店』が並び、沿道は、春は苺、夏はぶどうの直売店が出来、秋はコスモスの花が咲いて、私達の目と口を樂しませてくれます。又町内には七番十楽寺、八番熊谷寺、九番法輪寺と、3ヶ寺の札所があり、歩き遍路も多く、のどかな田園の中を鈴を鳴らして歩く姿は、私達の心に安らぎを与えてくれます。婦人会もお接待をさせてもらって、県外から来られたお遍路さん達とお話しをし、心を通わせています。



七番札所 十楽寺



八番札所 熊谷寺



九番札所 法輪寺にてお接待

AINSHUTAIN FRIENDSHIP STONE

美馬市穴吹町三島婦人会 会長 谷 明美

私の住んでいる穴吹町三島字舞中島は、世界的外科医で郷土の偉人でもある三宅速先生が生まれたところです。先生は東京帝国大学医科大学卒業後、33 才でドイツに留学。胆石症の研究により一躍世界的な医学になり、56 才の時の欧米視察旅行から帰途の船中で、ドイツの理論物理学者アインシュタイン博士の急病を治療。その縁で、お互い親交があり、博士から三宅先生夫妻の戦争による死を悼んで、哀悼文が寄せられました。

舞中島にある光泉寺境内には、アインシュタイン博士の命を救った三宅速医学博士の死をいたむ、直筆の碑があります。



光 泉 寺



アインシュタイン博士の追悼文



アインシュタイン直筆の碑

538-352 ゴミはサンゴウに!

優良認定 ★★

電話無料フリーダイヤル 0120-538-352

ゴミの処理はお任せください!
機密書類も未開封のまま処理します!

未来を守る循環型社会を推進!
www.sankoclean-sc.co.jp

(株)三幸クリーンサービスセンター
本社/徳島市徳島本町2丁目16番地 Tel.088-625-8488

ごみをやさしく分別する
(株)三幸クリーンサービスセンター
〒770-0011 徳島市徳島本町2丁目16番地 Tel.088-625-8488

P 10870031
SGS
UKAS MANAGEMENT SYSTEMS

地域活動

美馬市連合婦人会の鼓笛隊

美馬市連合婦人会 豊島 幸子

美馬市連合婦人会は4年前より鼓笛隊を結成し活動している。当時廃校になった小学校の楽器を譲り受けたのを機会にスタートした。どれひとつ完全な楽器はない、音譜も読めない、それでも数10年ぶりに童心に返り好奇心いっぱい「聖者の行進」を練習した。次第に楽しさの輪が広がり、美馬市全体の活動となっていました。

これまでに、県、市の芸能大会、地区的敬老会、小中校の運動会などで披露。又、NHKテレビ「とく

6 徳島」に出演できたのも楽しい思い出のひとつになっている。今後の大きな目標がある。美馬市複合施設の落成の折には、70名編成のシニア鼓笛隊として地元の大舞台に立つことである。レパートリーを増やし、完成度高い演奏をめざすべく、皆一丸となって心新たに取り組んでいる。ネジの抜け落ちた小太鼓も、鈴玉がひとつない鈴も、リンが足りないタンプリンも今私たちの手でよみがえらそうとしている。ハートにタッチ！ドリームキャッチ！



戦後70年・・・

吉野川市川島婦人会 会長 阿部 耕江

川島婦人会は、親睦旅行に広島平和記念資料館、原爆ドーム、大和ミュージアムに行きました。戦後70年という節目の年なので・・・。

千羽鶴を何日もかけ皆で折ろうと、がんばって折りました。

平和公園を散策しながら、案内をしてもらって、千羽鶴をその日に決められた場所に飾らせてもらいました。多数の方が来るので、飾る所がその日によって決められているのですね。

原爆ドームを見るにつけ、焼け野原になり命を落とされた人の無念さ辛さが身にせまり大変だったと思います。あれから、70年という年月が過ぎ、町はすばらしく発展しておりました。支え合う人達がいると言う事かも知れません。

大和ミュージアムに行くと、戦艦大和の模型を見るにつけ、兵士さんの苦労など、わからないままに、胸がつまる思いで、いっぱいになりました。

今回の旅行はいろんな思いを・・・。この地に大変なことがおき、70年もたった多数の方の思いや私達もいろんな思いをした旅行になりました。



継続する活動

阿波市婦人団体連合会 会長 加藤ハルコ

大俣地区婦人会では50余年前から味噌加工をしています。冬に造り込み、秋に繰り直しをして出来上りますが、添加物無しで国産大豆に米糀と塩だけで造る味噌の味は手前味噌ながら一番美味しいと自覚自負しています。会員が力を合わせて笑顔で作る味噌は食卓を和ませ幸せを運んでくれています。

もう一つの活動は地元の小学校の子供達に古くから伝わる雨乞踊りを指導し伝承している事です。運動会で踊ったり、各種イベントのオープニングに出演したりしています。去年の秋には発祥の地である城王神社へ登り、児童と共に奉納踊りをしました。山は子供達の元気な声と打ち鳴らす太鼓の音がひびき渡り賑やかな祭りの一日となりました。



地域活動について

三好市三野婦人会 会長 志磨久美子

9月13日の敬老のつどいに312人が参加して下さり、車椅子、杖をついた方もおられましたが、皆さん、お元気で、話しに花を咲かせ、保育所の子どもさんのかわいい踊りや、歌で笑顔の輪が広がり、なごやかな会となり疲れがふっとんでしまいました。

10月には、地域合同防災訓練が芝生小学校であり、日赤の釜を2個借りてきて、非常食を300食作り、皆さんに試食していただきました。次は中学生に非常食の作り方を教えてあげる機会があればと思っています。

また、毎年夏まつりの翌日は清掃作業をしています。これからも、やわらかな眼、やわらかな言葉で、生きいきとした笑顔で地域に根ざした活動を続けていけるよう願っております。



「ふれあい給食」を重ねて

美馬郡つるぎ町連合婦人会 佐藤千代美

2月後半。少し春の訪れを感じる頃。75歳以上になったひとり暮らしの方、80歳以上になったご夫婦だけの方々に、「ふれあい給食」を作っています。

今年も2月20日、21日と実施しました。ばら寿司、ポテトサラダ、なます、漬物、果物というメニュー。決して高価ではありませんが、婦人会のみんなが心をこめて作りました。日頃は2合、3合のお米しか炊かない人達が、2斗のお米を炊いています。そのご飯の出来を思うと不安が先にやってきます。なますの酢や砂糖の具合も、その量の多さに心配が絶えません。

けれど、給食を届けた時のお年寄の笑顔。その笑顔で、また来年がんばろうと思います。

『地域とともに お客様とともに 明日に向かって』

徳島銀行



TOMONY
HOLDINGS



『地域のみなさまとともに』

徳島銀行

TOMONY
HOLDINGS

